

アウトリーチ

アウトリーチとは？

その目的とは？

なにも大事にしているのか？

京都市ユースサービス協会は、京都市から委託を受けて市内7か所の青少年活動センターを運営しています。全国的にも数少ない、青少年のための施設を拠点として「ユースサービス」をすすめています。

30万人全ての若者に「ユースサービス」を届けることを目標に、まだ出会えていない若者のニーズをキャッチするためにも多様な取り組みをしています。今号では、多様なパートナーシップを築き、展開しているアウトリーチ事業の一部を紹介します。

夜のユースセンター



「閉館後にもふらっと行ける場所あったらいいのに……」青少年活動センターなんて休館やねん……（コロナ禍）そんな声に応え、その名の通り夜の時間帯の青少年活動センター、「夜のユースセンター」を街中のカフェと一軒家で開いています。お洒落なカフェと実家みたいな場所、雰囲気が違う2つの場所で、30歳までの若者であれば無料の若者食堂をはじめ、いろんな仕掛けを用意しています。もちろん、誰かと過ごすもよし、一人で食べてもよし、いつでも予約不要でふらっと来ることができ、自由に過ごし方を選べる場所です。今はカフェですが、今後モラティブハウスなど、事業者と連携する「INDEPENDANTS / アンデパンダン for youth」、一軒家を若者の場所として運用する『同時代セカンドハウス』を、多様な主体との協働で、京都のあちこちで実施を企んでいます。若者も大人もぜひ巻き込まれに来てください。

INDEPENDANTS / アンデパンダン for youth

日時：毎月第3火曜日 18:00～23:00

場所：1928ビルB1F (中京区三条通御幸町東入)

同時代セカンドハウス

日時：毎週火曜日 18:00～23:00 ※第3火曜日休み

場所：同時代ギャラリー Garage/Residence (南区東九条松ノ木町)

対象：京都市内および近隣地域の13～30歳の若者

※本事業は「赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援全国キャンペーン居場所を失った人への緊急活動応援助成」、「パブリックリソース財団 福祉・教育・子ども分野助成基金」の助成を受け実施しています。

宮本 千夏さん
INDEPENDANTSマネージャー

かねてから子ども食堂に参加したかったので、この場所を選んで頂いてとても嬉しいです。いろんな人に浸透してくれたら嬉しいなと思います。

同時代セカンドハウス
利用者

おばあちゃんの家のような所で、中学生から社会人まで色々な方とゆるゆるご飯を食べたりおしゃべりして過ごせます。

長澤 敦士さん
向島ユースセンター実行委員会

向島地域の若者の「想い」に触れることができるときに、この場所の意義を感じています。



向島ユースセンター

「よってく？」をキーワードに商店街の一角でひっそりとはじまった若者のための場所「向島ユースセンター」。若者と濃い時間を過ごし、地域と関係を密にしながら、徐々に仲間もでき、着実に輪が広がっています。現在は、元向島中学校跡地（むかちゅうセンター）にて実施、毎週約50名の中学生、高校生を中心とする若者が訪れ、おもしろい時間を過ごしています。体育館でバスケットをする、ロビー空間でマンガを読む、友人やスタッフと雑談する、何でもOK。地域のお祭りにスタッフとして参加する若者もいます。こういった活動ができるのは、地域の理解があつてこそ！ 地域の会合やイベントにも積極的に参画しながら、地域と若者のハブになれる場所を目指しています。資金や人材など課題もありますが、若者や地域とともに、向島ユースセンターの挑戦はつづきます！



参加者

金曜日の楽しみになっています。学校の友達にも会えるし、きたら誰かとしゃべれるし。



日時：毎週金曜日17:00～20:00

場所：むかちゅうセンター（伏見区向島二ノ丸町）

対象：向島地域の13～30歳の若者

張本 将利さん
らくさいライフスタイル

「多世代の繋がりを生む場づくり」私たちがまちプラを運営する目的を体現していただき、感謝しています。



ボランティア

ボランティアの自分もけっこう自由に過ごせることが魅力です。／洛西には青少年活動センターみたいな場所がないので、こういう場所若者がやりたいと思ったことを後押しできるといいな。



参加者

楽しかったのは「夏祭り」です。駄菓子屋をやったり、来てくれた人が喜んでくれたりして楽しかったです。／みんなでいっしょになんか作ったりするのがたのしい。

何かしたいときに「ちよつと」行けるとおきの秘密基地を目指して、日々アットホームに場を紡いでいます。

「こんにちは」まちづくりプラザさんへの挨拶に始まり、準備をしていると、ポツポツとボランティアがやってきてくれます。一緒に会場準備をしていると、中学生など、近所の子ども・若者たちも順次集まってきました。「試験、めっちゃ頑張った」と雑談が始まったり、「コレ持ってきた」とカードゲームやお土産を出してくれたり、「今日は何する？」とボランティアからの声かけに遊びが始まったり、「フッキーつくりたい！」と企画が始まったり……。フリースペースとして開設している『洛西CHOTTO』は、過ごし方が決まっていません。その日に集まった人で、過ごしたい過ごし方で、遊んだり勉強したりしながら過ごしています。時にはまちづくりプラザさんから「一緒にやりませんか？」とお声がけいただいて、装飾や夏祭りをするなど、自分たちだけの場ではなく地域の方々とつながりを感じることのできる機会もいただいています。

日時：毎月第2土曜日15:30～19:30

毎月第4土曜日17:00～19:30

場所：京都市交流促進・まちづくりプラザ（西京区川島五反長町）

対象：西京・洛西地域の主に10代の若者

